



平成27年11月13日

各 位

三重県四日市市日永二丁目3番3号
アップルインターナショナル株式会社
代表取締役会長兼社長 久保 和喜
(コード番号：2788 東証二部)
問合せ先 取締役管理本部長 清水 茂記
TEL (059) 347-3515

平成27年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年2月19日に公表しました平成27年12月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

平成27年12月期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年12月31日）業績予想数値の修正

【 連結 】

	売上高	営業利益	経常利益 及び 経常損失 (△)	当期純利益 及び 当期純損失 (△)	1株当たり 当期純利益 及び 1株当たり 当期純損失 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,018	542	340	197	15.81
今回修正予想 (B)	22,272	1,060	790	500	40.12
増減額 (B-A)	6,254	518	450	303	—
増減率 (%)	39.0	95.6	132.4	153.8	—
※ (ご参考) 前期連結実績 (平成26年12月期)	40,707	589	△759	△1,030	△82.71

※前期連結実績（平成26年12月期）の数値につきましては、中国子会社のPRIME ON CORPORATION LIMITED及びその子会社4社を連結子会社として含まれていた数値でございます。

当該子会社は、第1四半期連結会計期間より連結子会社から持分法適用会社へ異動しております。当該連結範囲の変更による影響の概要は、連結財務諸表の純資産額及び総負債額の減少、連結損益計算書の売上高、売上原価、販売費及び一般管理費、並びに営業外費用の減少であります。

詳細につきましては、平成27年2月16日の子会社の異動に関するお知らせをご参考下さい。

2. 修正の理由

輸出版売事業において主に東南アジア諸国向けの高額車両販売が好調に推移し、当初予定していた販売台数を大幅に上回りました。また、円安の好影響を受け市場が活発となった結果、連結累計期間の業績予想の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益については、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

しかしながら、平成27年2月16日の「子会社の異動に関するお知らせ」において開示したとおり、中国事業の縮小に向け取り組んでおりますが、現時点において完結しておりません。

従いまして、今後、中国持分法適用会社において発生する持分法投資損失及び縮小の際に発生する損失につきまして、現時点で合理的に見積もっておりますが、依然、懸念材料として予想されます。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合がございます。

以上